

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人草笛の会 ふれんずつばさ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 12日		～ 2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人内資源を有効に活用している。	・諸活動以外の時間にも法人内資源(体育館・トランポリン・グラウンド)を活用している。また、陶芸・パン作り・収穫体験等の活動をプログラムに取り入れている。	・色んな活動提供ができる点は法人体で実施をしている利点といえる。経験をしていくことが大切と考える。今後も法人の資源を積極的に活動に取り入れていく。
2	・地域や社会に繋がる活動を行っている。	・買い物訓練(スーパー・コンビニ etc...)・図書館・公園等の活動を積極的に取り入れている。公共交通機関を利用したの外出や外食を実施することもある。	・コロナ禍以前は消防署見学や工場見学を定期的に行っており、再度検討を行ない、活動の充実を図っていく。
3	・集団になじめない児童への対応を行っている。	・活動の時間をずらしたり、小集団の活動となる様環境に配慮をしている。 ・個別対応を実施している。	・小集団で楽しめるような活動の提供を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練を行っているが、訓練が行われていることを知らない家庭や参加をしたことがない児童もいる。	・活動予定に載せてはいるものの、固定した曜日に実施していた為、利用日ではなく参加をした経験がない児童もいる。	・固定した曜日ではなく、色々な曜日で実施をし、多くの児童の参加・経験を積んでいく。
2	・支援終了後の全体での打ち合わせはその日の内に行えていない。	・日誌記入時に職員間では協議することもあるが、送りにでている職員もおり、当日の内に全体での振り返りはできていない。場合により全体で共有する事はある。	・気になる点、協議する点においては翌日の支援開始前の打ち合わせにおいて全体への周知をしていく。 ・当日の内に全体での共有しておく必要があるものに関しては時間をつくっていく。
3			